

マラリア予防蚊帳に農薬はいらぬ！

日本の税金で作られたマラリア予防用蚊帳（オリセット）には住友化学製の殺虫農薬が糸に練りこまれている。元来蚊帳には蚊を入れない機能が備わっており、その蚊帳に農薬を使うのは、各住宅に設置されている網戸に無用の農薬を塗ることと同じで税金の無駄使いとなる。又、この蚊帳に使用されている農薬ペルメトリンには発癌と子どもの脳の発達障害の恐れが指摘されている。サパは、西アフリカで普通蚊帳の配布により予防成果をあげている。従って、農薬代を無農薬蚊帳の数量増に繋げた方がよりマラリア予防に貢献できるとした。去る5月に横浜で開催の「アフリカ開発会議」でアフリカ関係者に無農薬蚊帳の効果を強くアピールした。

アフリカではピレスロイド耐性蚊が出現

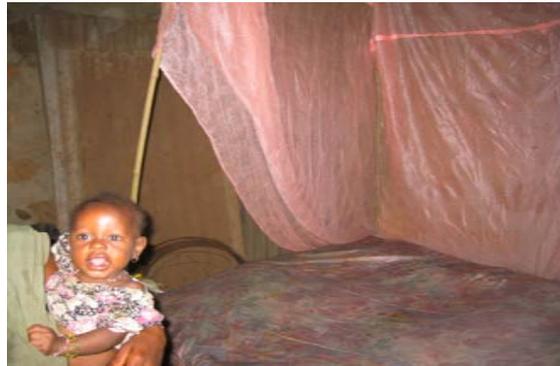
蚊は DDT 及びペルメトリンその他の殺虫剤に対する耐性を持つようになった。マラリア撲滅のために、薬剤を使用しない策を取る必要がある。

農薬蚊帳「オリセット」の注意書きには、オリセットを触った手で食べ物を食べないで！
先ず、手を洗って下さい！

と記されている。しかし、蚊帳への出入りの度に手を洗うことは現実問題として可能だろうか？

農薬無しの普通蚊帳でマラリアから子ども達を守ることが出来る

普通蚊帳は農薬蚊帳に比べはるかに安価である。（オリセットの 1/3 の価格）即ち、同じ金額の支援で、農薬蚊帳より多くの子ども達をマラリアから守ることが出来る。



サパがギニアで配布した農薬なしの普通蚊帳

村名	蚊帳使用				蚊帳無使用					
	カレタ		カンカレバ		合計	カンバ		サナワリア		合計
	A	B	A	B		A	B	A	B	
2004年12月	0	0	0	1	1	4	5	3	4	16
2005年1月	0	0	0	0	0	3	6	5	7	21
2005年2月	0	0	0	1	1	1	4	3	2	10
2005年3月	0	0	0	0	0	5	1	0	2	8
罹患患者数	0	0	0	*2	2	13	16	11	15	55

普通蚊帳使用によるマラリア対策の効果

この調査はギニアで0歳から5歳児を対象として実施された。各村、便宜的にA、B 2グループに分けた。蚊帳使用で*2人を罹患として報告しているが、これは発熱していたためであり、マラリアに罹患していたかどうかは確認がとれていない。

子ども達の脳が危ない

農薬蚊帳「オリセット」に使用されているペルメトリンは
脳の発育を阻害する恐れがある

子どもの行動異常・脳の発達障害と環境化学物質汚染：PCB、
ペルメトリン農薬などによる遺伝子発現のかく乱*

*黒田洋一郎、「科学」2003年11月73巻11号、1234~1243頁

環境ホルモンの低用量作用

微量の毒性化学物質で毒性が発揮

用量依存の従来の毒性学を覆す「DNA single target」説**

**黒田洋一郎、「内分泌かく乱物質の脳神経系機能発達への影響と毒性・・・」

www.jst.go.jp/kisoken/crest/report/sh_heisei11/naibunpitsu/kuroday p.286

東京都神経科学総合研究所客員研究員（脳の発達障害と化学物質の関連性）

ピレスロイド系殺虫剤ペルメトリンによる

脳神経の発達抑制作用***

***津田正明教授他、J. Pharmacol. Exp. Therap.,

295, 1175(2000)

富山大学大学院医学薬学研究部教授（遺伝子発現制御系の役割の解析において世界的地歩を築く）

私達が目指しているのは、「マラリア予防には普通蚊帳の普及」です！

オリセット（住友化学㈱開発の農薬を糸に練込んだ蚊帳）、その他の殺虫効果長期残存型蚊帳配布に強く反対します

特定非営利活動法人

サパ=西アフリカの人達を支援する会